

化学物質・汚染物質

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
鉛	汚染物質	自然界に広く分布している、加工しやすい重金属です。ハンダ、合金成分、ガラス、食器、顔料、バッテリーなど様々な用途に使われています。1970年代前半に鉛による大気汚染が問題になりましたが、有鉛ガソリンの使用規制等により、現在では大気中鉛濃度は大幅に減少しています。(食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	今後、血中鉛濃度から摂取量への変換に関して新たな知見が蓄積された場合には、耐容摂取量の設定を検討することとされた。(最近の議事: 24.3.22専門調査会)
ヒ素	汚染物質	ヒ素は地殻中に広く分布する非金属元素であり、岩、土壌、水及び空気中に微量に存在します。(食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	専門調査会にて審議中(最近の議事: 24.2.15専門調査会)